

未来を託す中学生議会

平成29年2月10日発行 第176号

こうふ町
議会だより

12月定例会2P
いっばん質問 町政を問う4P
所管事務調査10P
私のひと言14P

12月定例会

一般会計2, 231万円増額

予算総額 35億7, 715万円に

平成28年12月定例会は12日に召集され、会期を19日までの8日間と定めて開いた。

今回の定例会には、平成28年度の一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例改正など26議案が提出されました。

議会ではこれらについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決した。

13日の本会議では3名の議員が一般質問に立ち、活発な議論を展開した。



楽しい給食・子供の国保育園

補正予算

一般会計

歳入の主な内容

●民生費県補助金
中山間地域保育料無料化
モデル事業費補助金

221万円増額

保育料無料化に対する補助金。町はこのほかに約1, 200万円（実質町負担は3割）補助し県の補助約720万と合わせ2千万円弱を負担している。

●農林水産業費県補助金
作業道開設補助金
2, 500万円増額

歳出の主な内容

●農林水産業費
作業道開設事業費
2,500万円増額
御机く苦塔の林道整備費。

●地域おこし支援事業
協力隊員経費
399万円減額

今年度地域おこし協力隊を1名採用をしなかつた為。



農業公社に導入された4条刈りコンバイン

●ふるさと応援基金積立
116万円増額

基金積立するもの。

特別会計

歳出の主な内容

●公共下水道事業

2,980万円減額
川筋く江尾地区接続工事の国補助金の減額により残りの工事を翌年にするもの。

条例改正

▼固定資産税の課税免除に関する条例制定

サントリー工場増設に伴い、運輸業者である日通にも同様に固定資産税を3年間免除し、条例制定により75%国の交付税措置を受けるもの。

▼議員報酬に関する条例の一部改正

特別職職員給与に関する条例の一部改正

●人事院勧告により期末手当を0・1月引上げ年間3・25月とするもの。

▼職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告により平均給与を約0・2%引上げ勤勉手当を0・1月引上げ年間期末手当合計4・3月とするもの。

その他

▼江尾診療所超音波画像診断装置購入契約

1,250万円
現在のシステムが老朽化し、修理費が高み又、より高度の画像診断ができるように更新するもの。

▼辺地に係る総合整備計画

奥大山水処理加工施設にエアシャワー室を新設するもの。辺地債

による550万円の事業。

▼過疎地域自立促進計画
・頑張る地域プラン事業

984万円
農業公社にコンバイン・田植え機の導入。

・介護老人保健施設あやめ改修工事

615万円
レクリエーション室、トイレ改修し利用者に快適な環境を確保するもの。

・介護老人保健施設あやめ軽自動車購入

130万円
・インフルエンザワクチン費用助成
1,049万円



一般質問

町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長の方針をたどした



三好 晋也

3000人の

楽しい町づくり

問	旧江府中学校跡地利用は？
答	議論を踏まえ検討

質問 本年6月に実施された旧江府中学校跡地利用計画に伴うアンケートが実施されたが、このアンケート結果をどのように分析、検討され、旧江府中学校の跡地利用を考えているか伺う。

町長答弁

アンケート結果については、50代から70代の世代、年代からの回答が多かったため、当初、事務局側が想定していた住宅分譲地としてどうかという趣旨にそぐわない結果が出たと思う。ですから

福祉施設やふれあい交流施設、そういったものが多かったのだと思う。また、その他の意見として企業誘致による雇用の充実と人口減少対策に寄与してはどうか、あるいは

公営住宅等を整備して若者世代の定住促進したらどうか、スーパー、ショッピングセンターなどの環境整備という意見もありました。そして現在、点在している役場庁舎を考えてはどうかという意見もありました。庁舎等調査特別委員会の御議論もふまえ、次の利用方法を考えていきたい。

問	奥大山スキー場第一リフト更新について
答	早急に検討

質問 江府町過疎自立促進計画において来年度、奥大山スキー場第一リフトの更新が計画されているが計画通り実行されるか伺う。

町長答弁

奥大山スキー場第一リフトにつきましては江府町過疎自立促進計画の中に位置づけられているが、これは平成28年度に計画を立てたもので計画期間は32年度までのもので具体的にはいつということではありません。計画の

中には時期は明記してはいないが早急に整備する必要があると思っただけ環境省との協議の問題があり、最短でも平成30年秋になるとい



奥大山スキー場第1リフト

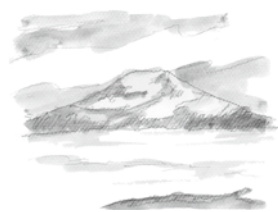
問	介護予防事業の取り組みについて
答	もっとPRが必要

だけはご理解いただき。

質問 高齢化社会を迎えた江府町が3000人の楽しい町になるためには介護予防事業が大変重要だと思いがまだ、充分でないと思う。通所型、訪問型併せて町内の各施設の連携を強化してもっと多数の高齢者へサービスが提供できるよう望む。

町長答弁

ご指摘の介護予防事業、とりわけ通所型と呼ばれるものについては利用者を伸ばすためにPRをしていきたい。



未来志向で行政と一体化



三輪 英男

問	アウトソーシングについて
答	棚卸しと生産性が肝要

質問 江府町においてのアウトソーシングの必要性及び現況についての状況はどのようになっておりますでしょうか。メリット・デメリットを具体的に検証されておられますか伺います。

町長答弁 江府町、小さな自治体でありながら、住民ニーズは本当に広くなっております。そこに柔軟に対応するために住民目線・そして当事者意識をもつてする業務はもちろん、専門的な知識や技術が必

要なものは当然外にお願いで委託でやっていただくこととなります。要はひとつは事業そのものを棚卸しすること、もうひとつは、生産性を上げることそれをもっと効率的にできるかどうかというのをやる。これの中心の一つがアウトソーシングの活用ではないかと思

問	農業公社の改善の鍵はどこ
答	今、まさにその時が到来

質問 公社改革には、結局のところマネージメントコンダクターの必要性が欠如していることが明らかであり、喫緊の課題

として対応策を取るべきと思うが、お尋ねいたします。

町長答弁

リーダー、あるいは段取りを事前につけていただける人、そういうのがやっぱり欲しいというお答えを聞きまして、本当に切実な問題だということとは十分認識しております。実はもう動いております。ただここでは必ずできるかといえませんが、4月に向けてそういう形がとれますように、最大限の努力をして、そうしたいというふうには考えております。

問	市民農園を活かすには条件不利を逆に
答	根本的にどのようなスタンスで再活用するか具体的な方針が、見えていない状況とおもった改善策を伺います。

町長答弁

なかなかすぐには、昔のカサラファーム、オーブン当初のような感じにはできないとおもいますが、私は基本はやっぱり人だと思っています。人の流れができてくれば、おのずと物はつくれていくとおもっておりますので、そういう形になりますように努力を続けていきたいと思えます。

問	加速化事業の完了は年度内には完了予定
答	お試し住宅整備

質問 お試し住宅整備

(空き家を整備しお試し住宅として活用)・江尾交流サロン整備(空き店舗等を活用し交流促進支援)に関する事業完了について伺います。

町長答弁

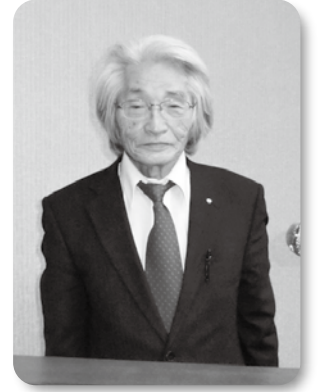
町内の空き家を可能な限り、空き家バンクに登録してもらおうというのが前提ですので、そこあたりをやって、その後調整してお試し住宅という段取りですので、ちょっとまだ事業完了にはいたっていません。

江尾の交流サロンの方は福祉目的の形で取りかかっておりますが、日本財団さんの御協力をいただけるということもございまして、現在検討しております。いずれ年内に完了させていきたいと考えております。



登校風景 (小江尾)

議会の映像化は



竹茂 幹根

問	動画で町報や議会の情報を町民に
答	可能な所からやりたい

置いて開示が苦手な老人への情報提供をする必要を感じるがどう思うか。

町長答弁

質問 町報の11月号にQRコードで動画情報が視聴できると町報に揭示されていた。私は、3年前から情報を動画によって町民に配信したらと言いつづけてきた。一部ではあるが動画による情報の提供が実現したことは喜ばしいことで一歩前進、白石町長が先頭で就任3ヶ月で実現したわけです。

町報にとどめず議会の情報も町民に動画で配信すべきものと考えてるが、町長はどう思うか。又、防災センターや診療所に情報提供専用のテレビを

これは町報10月号からやってみました。キミ先生の英語コーナーをやってみると意外に好評で、もうちょっと広げてみようということ担当者の広報担当が広げたものです。議会の情報も動画で町民の方へということですが議会の了解がないといけないが、例えば一般質問だけでも録画すれば、すぐにでも取り組めるかと思っています。

問	町有林の取得は議会の承認も得ている
答	9月の議会でも、財政の健全化、財政確立についての質問で、町長は「財政確立の基本は、不要不急の事業は避け、無駄は排し、節約していくことが財政確立、健全化の原点と考えている。」と答弁された。

町長は、どうとり組むか見解を伺う。

町長答弁

たくさん質問をもらった。私が就任する前に、前町長がなされたこと、それをもとに議会で議決されたことについて、私のほうからとやかく答弁するのはいかなものか

今年も消防の全国大会は秋田で開かれる。応援体制については、今後検討したい。

地方自治法の手続を踏んで取得を行ったものという意味合いで議会の議決も得て法的にきちっとやっているという答弁をした。

1町歩が130万円、水田でも1町歩130万円、それが山林1町歩が130万円です。不要不急で無駄使いの買物ではないですか、町長の財政確立の原点と整合しないと思うが、どうか。

消防の全国大会の議員の応援派遣と町費の支出ですが、東京まで議員団13名を町費をもって応援を依頼。60万円近い金を支出している。県内の応援派遣ならともかく全国大会は無駄使いと思うが町長の見解は。また今後全国大会出場をしたとき、



動画配信に向けて試験的に撮影した中学生議会

12月14日次の委員会が開かれた

庁舎等調査特別委員会

町長より3か所の案が示されそれぞれにおける利点と欠点が説明された。

- ①JA江府支所購入 概算費用 約5億2千万円
 - ②旧江府中学校跡地 概算費用 約10億8千万円
 - ③現庁舎場所 概算費用 約10億4千万円
- 今後、財政がどうなるのか見通しを示し、議員から提案のあった江尾駅周辺の場所も検討案に入れ、1月に住民説明会を行う事となった。

議会改革調査特別委員会

・広報特別委員会を広報公聴常任委員会とすることにし、委員会規則を制定する事とした。変更は次の改選後とする。

・議会の映像化について、3月議会から一般質問を町のホームページに載せることとし、今後要綱を定め運用試験を行う事とした。

・議員定数について懇談会の形で議員其々の考えを意見交換した。将来の議会をどういう形にすればよいか重要な問題であり、又、視察に行った早川町の状況も参考にし、次は1月に再度意見交換することとした。

日野病院議会報告

11月24日、日野病院議会定例会が開催され、2件の議案が採決された。

◎平成28年度在宅介護支援事業補正予算8千円

◎介護老人保健施設事業決算

江府町の老人保健施設あやめを日野病院が平成28年3月31日を以て指定管理から撤退したことから、最終決算報告がされた。8,360万円の欠損金が上程され、江府町・日野町からの充当により、当年度未処分利益剰余金は0円となり日野病院の老人保健施設「あやめ」の事業のすべてが終了した。



介護老人保健施設あやめ

中学生議会開かれる

中学3年生25名が江府町の課題まちづくりについて1月19日江府町議会本会議場で「江府町中学生議会」が開催された。

中学生の視点で保育料無料化のPRをした方がいいのでは？魅力ある江府町の自然を活かした対策についてなど6人の質問がされ、白石町長も質問に対して、真摯に受け止め前向きな答弁がされた。

中学3年生の皆さんが、江府町の現状、将来についての現状認識、課題解決についてもしっかりと提言されておりました。



地方行政調査報告

平成28年10月19日～21日

長野県 下條村

行政改革の 取り組みについて

「村の概要」

下條村は、明治22年2村が合併して以来127年間単独の村で、長野県の最南端に位置し、名古屋から車で1時間半、飯田市から20分の距離にある人口3917人の村である。保育園(119人)、小学校(248人)、中学校(130人)はそれぞれ1つあり1学年は約40名となっている。

「行政改革の取り組み」

ガソリンスタンドを経営していた伊藤喜平氏は平成4年に村長に就任すると職員の意識改革に着手し、職員全員を1週間ホームセンターの店頭に立たせての自覚を促した。昭和56年に59名であった

職員は、現在38名となっている。

又、村民自ら道路や農道、水路の整備を行う「資材支給事業」を始め、昨年までに1647ヶ所、総額約3億円の資材支給を行った。業者に発注するより、

かなり安く済んでいるとの事だった。平成2年からの下水道事業では合併処理槽の一本化を決定。公共下水・農水の建設費が45億円と試算される中、総事業費を9億円におさえ、村の負担金を2億5千



資材支給事業の村道作り

万円に留めた。

平成9年から浮いた財源で、課題であった人口対策に取り組み、若者定住促進住宅10棟・124戸、1戸建て住宅54戸を建設した。家賃は2LDKで3万3千円で子供を持つ世帯が結婚予定者で、村の行事への参加と消防団加入も条件としたが、現在でも満杯状態となっている。この住宅には600人以上が暮らし、子どもの声が聞こえる元気な村の土台となっている。平成24年からは定住促進住宅の補助を始め、新築は100万円、宅地にも100万円等住宅取得の助成を行っている。

平成27年決算から見る財政状況は、経常収支比率65%、実質公債費比率▲6.6%、起債残高12億円、基金残高70億円となっている。

伊藤村長は、「自治体の体質を強くできるのは、住民であり、住民の責任でもあります。」

住民が自治には是々非々の姿勢で積極的に関わり、住民の力で自治体の力を引き出して行かないといけない」と語っている。

「考察」

(1)行政改革取り組みについて

下條村は、伊藤村長というリーダーにより奇跡の村と呼ばれるような村になった。しかし、その中身を見ると意識を変えればどの自治体でもできることを、1つずつ愚直に、しかし信念を持って実行し続けたことが現在の村を作ったと言える。具体的には、全体の奉仕者としての職員の意識、自分の村は自分で守るという住民の意識を変えることで財政基盤を作り、その財政を次の施策に活かしている。江府町においても、やはり財政基盤をしっかりさせることは重要であり今後、意識の改革に取り組み必要を感じる。

山梨県 早川町

「庁舎建設の概要」

早川町は、山梨県西部にあり南アルプス南端の山深い町で、人口は115人の全国で一番人口の少ない町である。

前の庁舎は、昭和32年に建設された木造建築だった。平成23年3月11日東日本大震災が発生。一気に庁舎建設の機運が起り、平成25年4月に庁舎建設に関する検討会を発足。役員職員の担当課のリーダーで構成し平成25年5月に基本構想、平成28年3月竣工となった。造成費を合わせた総工事費約9億円は、庁舎建設基金でそのほとんどを賄っている。平成28年度の一般会計の予算規模は約25億円で、交付税が約11億円となっている。平成25年度の実質公債費比率は3・3%で、平成28年現在の起債残高は約12億円で基金が約12億円との事で将来負担比率は0%という健全財政である。

建設に当たっては、庁舎建設はまちづくりと捉え、子供から大人まで色々な場面で一緒に係り合いを作り、わが町を知り愛郷心を育て自分たちの庁舎であるという愛着を持つよう工夫している。又、住民の有識者15名で組織された庁舎建設検討懇談会を作り、建設の内容について説明を行っている。

1億円の削減、一方で設計業者に対し町の希望を実現するために、東京のコンサルタント業者「イトーキ」を頼み（コンサル料金560万円）、非常に有効だったとアドバイスを受けた。

【考察】
早川町の旧庁舎は、江

又、仮設庁舎は作らないよう旧庁舎横の川原を埋め立てその場所に建設することで約1億円の経費削減、議場を大会議室で兼用すること



早川町役場庁舎

府町の庁舎と同じ時期に建設され、地震を契機に建設が進んだなど江府町と同じような状況である。実際の建設に当たっては、庁舎に必要な機能を精査し、整備するものと省略するものを選択し検討している。その際、設計業者任せでなく別にコンサルタントを頼み希望の実現を行っている。



早川町役場視察研修

今後、江府町の庁舎建設が計画されるが、大いに参考になるポイントが多くあり取り入れていく必要がある。

【議員定数の概要】
昭和32年6つの集落が合併し定数22名とした。当時、水力発電所が14か所あり木材産業が好景気であり人口は8116人であった。その後人口が大きく減少し平成17年人口1611人となり定数を10人にし、平成25年人口1125人となり議員定数を8人とした。決

定に当たっては、他の地域に研修に出かけました町民の声も拾い検討し最終的には、議員の多くが8名を支持した。望月議長は、町民から信頼を得ることが議会の定数を考える上で重要であり、今後住民懇談会等を実施し議会に対する信頼を得る努力をするとの事だった。

【考察】

議員定数については、其々の町村で歴史や地理的条件があり難しい問題だと言える。早川町の望月議長が一度削減した議員定数は、人口が減る中増やすことは難しいと語られたが、その通りといえる。

今後、議員定数について議論を深めることになりませんが、議員定数だけでなくどんな議会にしていくのか、それによって住民の信頼を得ることが出来るのか、議会改革もいくつか議論していく必要があると考える。

総務経済常任委員会

調査日 平成28年11月10日

市民農園 カサラファーム

地域おこし協力隊員
生田さんが農園を運営
管理をされて2年目に
なります。自活に向け
て関係機関等との協
調・認識の共有が一段
と大切です。

【現在の活動状況】

- 一、農園の一部で各種作物の栽培。
 - 二、管理棟での、映画祭・音楽祭。
 - 三、ランチ営業・地域外での出店。
- 【今後の取組】
- 一、有機栽培・自然農法で管理。
 - 二、旅館業許可取得。
 - 三、新たな施設整備（ヒザ釜）など。



市民農園カサラファーム

【考察】

冬期間のスキー客の呼び込みを工夫しながら、居住スペースの改善や工夫により自分のパフォーマンスをうりとして、客の確保に努

力されたい。

サントリーの従業員
の雇弁当を予約制で対応できないか、担当課とも十分な連携をとって検討されたい。

三町衛生施設組合

【汚泥再生処理センター建設】

「概要」

総事業費

16億7,000万円

施工監理者

株式会社ウエスコ

設計・施工者

日立造船株式会社

施工計画

・建設用途

汚泥再生処理施設

・構造

（処理棟・管理棟）

鉄筋コンクリート造

地下一階、地上二階

・計画処理量

し尿・浄化槽汚泥・

集落排水施設処理汚

泥・公共下水道処理

汚泥・合計15KL/日

【考察】

○工事着工以来、今日まで高所作業等における作業員の事故もなく、計画通り工事が行われている。完成まで安全第一で工事をされたい。



建設中の「清化園」

（財）奥大山農業公社

高齢化、担い手不足等により営農困難な農家の農作業を受託し、併せて農地を担い手農家へ斡旋し農地を集積することにより、農地

の保全と効率的な農業経営の推進を図るとともに、自らが農地を借り受け、営農し江府町の農地の保全につとめている。正規職員2名、臨時職員1名と嘱託職員1名（町事業・農の



新甘泉栽培風景

雇用支援事業」と引き続き「地域おこし協力隊」2名（内1名は7月下旬より採用）で事業を実施している。本年から新たに「果樹・新甘泉」を試験的に取り組み（本年度は、苗の育苗と定植を10月下旬）江府町の果樹栽培の可能性を探る。

道の駅「奥大山」

「物産館マルシェ」

○平成28年10月から組織体制の一部が変更になり、今まで以上にお客さんを大切に迎える感謝の気持ちで対応されている。

○具体的な取組として、イベントを開催し、トイレだけの利用者にも購買に結びつくよう工夫されている。

「直売所みちくさ」

○みちくさでは加工品販売を更に充実させ、新たな商品販売に努力している。お客さんには、飲食する場所としての「東屋」

が好評をいただいている。

○天候不順等で野菜不足が目立っておりましたが、新たな取組として、冬のイベントとしてコンニャク教室を開催しお客様の獲得に努力している。

【考察】

◎物産館マルシェ・直売所みちくさの協調体制が構築できたことのメリットが表れており、イベントも同時開催と色々な工夫されており、着実な歩みを感じられる。◎ゆったりとした空間にお客さんの和やかな食事風景が見受けられ、食堂の雰囲気が一新されるなど努力のあとが見られる。◎更に、日々研究される道の駅「奥大山」のイメージアップに努められたい。



物産館「マルシェ」



直売所「みちくさ」

教育民生常任委員会

調査日 平成28年11月21日

江府小学校

今後の児童数の推移

平成28年全児童数は101名であるが、卒業予定者24名で、来年度入学予定者は8名。平成29年度は84名で以降減少傾向である。

(考察)

プール、併せてトイレ、更衣室については毎年、全面改修の要望が出ていることもあり対応が望まれます。又、トイレは昨今、児童の家庭では洋式トイレが一般的になっていることもあり洋式化を検討されたい。

江府中学校

今後の子供の数の予測

平成28年全生徒数は70名であるが平成32年度は46名と大幅な減少が予測される。

(考察)

上りバス停の待合所の設置を検討されたい。

子供の国保育園

今後の児童数の予測

平成28年度は町内児童数89名で園児数71名で(広域入所1名)である。

(考察)

乳児室が手狭のため今以上の受け入れが難しい。保育士の確保も併せて検討されたい。

社会福祉法人 尚仁福祉会

入居者の状況は江美の郷50名(待機者59名)あやめ73名(待機者37名)である。

職員数は江美の郷91名、あやめ74名である。

(考察)

介護事業に関する全般で江美の郷、あやめを拠点とした事業展開に加えて28年度より障がい福祉事業も開始されています。今後は障がい者のニーズや動向を踏まえ体制づくりをされるよう望むものです。



尚仁福祉会にて

江尾診療所

(医科)

平成27年度レセプト

件数 875件

(歯科)

平成27年度レセプト

件数 361件

医科、歯科ともに診療報酬、レセプト件数は減少傾向にある。

(考察)

診療科全体の収入はこれからも減少傾向が続くと見込まれる。公的資金を投入しないと

維持が難しくなると思われるので今後検討されたい。

後継医師の招聘につ

いては看護師の正職員化と電子カルテへの完全な移行が条件となるとの事。早急な対応が望まれる。

また、患者さんへの待ち時間の短縮等のメリットが受けられるよう早期に対策を検討されたい。(例えば医療秘書などの雇用によりカルテ入力補助など)

来年4月に予定されている公営企業化については専門的に事業経営を管理する人材が求められる。対応を検討されたい。

乳幼児の給食風景 (子供の国保育園)



社会福祉協議会

平成26年度から「まちなかサロン」として一部屋を開放している利用者も増えてきているとのこと。住民の皆様は徐々に認知されて

きている。現在、町づくりのプ

ロジエクトを立ち上げている。5か年計画で8つの事業に取り組む予定である。

(考察)

現在の課題は福祉的要素が多くなってきたので人材の増員、確保が急がれる。

いきいの広場 らんちゅう

利用者の状況

介護事業

平成27年度

延べ利用者数

3,050名

介護予防事業 (毎週水曜日)

平成27年度

延べ利用者数

360名

待機者なし

(考察)

毎週水曜日実施している予防事業の利用者が十数名と固定化している。町内に広く広報をして多数の利用者が参加できるよう望む。



ほっとサロン (社会福祉協議会)

ひとこと



杉谷 渡邊 俊一

江府町に 移住して

一昨年から江府町に住み始めて、はや1年半が経ちました。住居のある杉谷集落の皆さんには大変お世話になっており、困ったことがあっても相談に乗ってもらったり助けてもらっているおかげで毎日を楽しんでいます。

移住する前は、島根県・浜田市で野菜の流通に携わる仕事をしていた、そこに江府町の先輩移住者がたまに訪ねて来られ、お話しする機会がありました。後日その先輩に誘われて実際に江府町へ行ってみると、情緒溢れる風景が街中に広がっていて、こういう所に住んでみたいなあと思ったのが移住のきっかけです。町内にお店自体が少な

ったり遊ぶところがなかったりと、不便を感じることはありますが、自分たちで集まって酒の席を設けたりして皆さんが楽しそうに過ごしているのを見て、それが印象的です。また、江府町を盛り上げようと、青年団の皆さんを中心に若手が頑張っていることにも感銘を受けています。

また、街中を歩くと必ずと言っていいほど顔見知りの人に出会うことにも驚きました。そして、「頑張っちゃおうかや」と温かい声をかけて下さり、いつも元気をもらっています。白石町長が「3000人の楽しいまち」を掲げておられますが、小規模でコンパクトな江府町ならではの日常だと思えます。

前職等の経験を活かして江府町の野菜や特産品を町外に発信していくのが今後の目標です。また、まだまだ勉強中の身ですが、自分でも野菜づくりをして加工品も作っていきたくと思っています。江府町の発展に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



佐川 梅木 琴未

農業を通じて

初めまして、去年の7月終わりから地域おこし協力隊、農業公社班として江府町に来させていたでいます。梅木琴未(うめきことみ)と申します。念を押しますが、「琴木」の「み」は、未来の「未」です。よく間違えられることがあるので、悪しからず。

簡単な自己紹介としまして、生まれは鳥取県境港市で、大学の4年間のみ大阪に出ていました。江府町には、祖父母の家と田んぼにきていたので、実は初めましてではない方がほんの少しおられます。

また、好きなことは草刈りと読書とゲーム。苦手なことは、草刈り以外の運動全般です。元々、祖父母の田んぼの手伝いとして、はたまた遊びに、週末にはだいたい江府町にきていました。中学のころから米作りに関わり、高校の時には刈払機を使ったり草刈りを手伝わせてもらっていました。今では、草刈りや農作業が大好きで、その農業で地域に関わって行きたい、好

あとがき

昨年は白石新町長はじめ影山副町長、富田教育長が就任され江府町の新体制がスタートしました。また、議会も本年6月には選挙を迎えます。行政と議会は車の両輪です。そういう意味でも今年の新年は例年になく身も心も引き締まる思いの朝を迎えました。3000人の楽しい町づくりに向かって議会も頑張りたいと思いますので今年もよろしくお願ひいたします。三好晋也

議会広報調査特別委員会

- 委員長 上原 二郎
- 副委員長 三好 晋也
- 委員 川端 雄勇
- 三輪 英男
- 川上 富夫

